

事例 20 環境省等と連携したレブンアツモリソウの保護増殖 (北海道森林管理局 宗谷森林管理署)



- ・北海道礼文郡(れぶんぐん)礼文町(れぶんちょう) 礼文(れぶん)国有林
- ・(左)レブンアツモリソウの様子 右)森林保護員によるロープ設置の様子

礼文島は、日本海側における最北の離島です。その厳しい気候条件により低地においても高山植物が多く生育する特異な生態系を有しており、多くの観光客が様々な高山植物の姿を求めて来島します。

この生態系の代表的な植物がレブンアツモリソウです。レブンアツモリソウは礼文島固有の地生ランであり、過去に盗掘等が増加し生育数が激減したことから、絶滅危惧種に指定されています。

宗谷森林管理署では、環境省の稚内自然保護官事務所や地元礼文町と連携し、レブンアツモリソウの保護増殖活動に取り組んでいます。

令和2年度は、森林保護員を1名配置し、盗掘や踏付けを防止するため、巡視を強化し、歩道へのロープ設置や観光客へのマナー啓発等を実施しました。これらの取組により、近年は盗掘被害が激減しています。

引き続き、関係機関と連携し、レブンアツモリソウの保護活動や生息環境の改善等に取り組むこととしています。